

## ■徳島南部自動車道・阿南安芸自動車道 早期整備へ!

昨年3月、徳島沖洲ICから新たに架けられた新町川橋を通り、徳島津田IC間が開通しました。更に今年3月には、吉野川最下流に新しく建設された「吉野川サンライズ大橋」を渡り、徳島JCTから徳島沖洲ICまでが供用される予定です。立江櫛淵IC-阿南IC間では、羽ノ浦トンネルの掘削が進むとともに、大野地区においても構造物の工事が進んでいます。県南部の人やモノの流れを生み出し、地域産業の活性化や観光振興につながる道として、また災害時には命をつなぐ道として、大変大きな役割を担う県南への自動車道の早期整備は不可欠であり、立江櫛淵IC-阿南IC間の先行供用を含め、津田IC以南の整備加速が必要です。今後も県南への自動車道早期整備の必要性を訴えるとともに、要望活動へ積極的に参加していきます。

(今年1月に関係機関へ要望活動を行う予定でしたが、コロナウイルス再拡大のため中止となりました。)

### 【櫛淵IC-阿南IC間】先行供用に向けて、工事が進む

- ㊥ 羽ノ浦トンネル掘削  
櫛淵側ヤード
- ㊦ 那賀川から阿南IC  
に向かって(大野)



吉野川サンライズ大橋

徳島JCT  
- 徳島沖洲IC間  
令和4年3月開通

徳島沖洲IC  
- 徳島津田IC間  
令和3年3月21日開通

新町川橋架設工事  
令和2年12月

## ■DMV(デュアル・モード・ビークル) 令和3年12月25日から営業運転を開始

道路と線路の両方(デュアル・モード)を走る乗り物として、阿佐海岸鉄道で運転を開始しました。「世界初!」の乗り物として、それ自体が観光資源であり、豊かな自然やサーフィン・レジャーなどと合わせ、今後の県南部の観光振興に期待をするとともに、さらなる戦略が必要になります。

現状、安全面などから単独運行となっていますが、運行実績を重ね、規制を取り除いていくことで、DMVが持つ道路と線路の両方を走ることができる機能を活かした、新たな公共交通のモデルとして普及していくことを期待しています。

阿佐海岸鉄道HP <https://asatetu.com/> →



- ㊥ 【バスモード】土日祝は室戸まで海岸沿いを走る(道の駅穴喰温泉)
- ㊦ 【鉄道モード】バス⇄鉄道のモードチェンジが約15秒で完了し、この様子自体が観光資源になる(阿波海南駅 モード・インターチェンジ)
- ㊧ 阿波海南文化村停留所

## ■陸上競技場完成(令和3年3月20日)

南部健康運動公園に陸連公認第3種陸上競技場が完成しました。

ナイター照明について前から要望し、拡張性を持たせていただいていたところ、徳島電機産業株式会社様から県にご寄付・施工いただき、100ルクスマで照度アップできました。

阿南市、県南のスポーツ力向上、健康増進の拠点となることを願っています。



## ■水素燃料電池(FCV)バス路線運行開始

GXの実現に向けた取組みの一つ、走行時に二酸化炭素や排気ガスを出さないクリーンなバスの運行が令和3年12月から始まりました。

地球温暖化によるとみられる影響が顕著になる中、少しでも温暖化をくい止めるため、水素社会の実現や森林保全などを含め、長期的な視点で対策に取り組んでいきます。

水素FCVバス運行詳細徳島バスHP  
<https://www.tokubus.co.jp/>



## ■タブレットによる議会のペーパーレス化

令和元年度に座長として議会改革検討会議で取りまとめた項目の一つ、議会ICT化ペーパーレス化が令和3年9月議会から試験的に始まりました。議案書等がタブレットで見ることができ、大量の紙の削減につながっています。また多くの資料の中から、取り上げたい部分を議員や理事者全員がすぐに共有できることで、時間短縮とともに、議論の深まりにつながっています。

